

平成3年度 和歌山県国際文化功労賞

たけ なか ただし
竹 中 正

住 所：ブラジル サンパウロ
出 身 地：和歌山県西牟婁郡白浜町
生 年：大正4年

◎業績及び経歴

昭和4年、14歳で、父儀助氏に伴われてブラジルに移住。働きながら、サンパウロの名門アルバレス・ペンテマード商科大学を卒業した。

昭和44年父の志しを継ぎ、(株)竹中商会の社長に就任、特に混合肥料の開発に先鞭をつけ、ブラジル農業の近代化に大きく貢献している。

本業に成功をおさめたばかりでなく、日系社会の繁栄のため、福祉・医療、教育、スポーツ等あらゆる分野で指導者として活躍している。

サンパウロ日伯援護協会会長として、移住者のために積極的に、福祉・医療事業を展開。特に、日系社会未曾有の大事業といわれた日伯友好病院の建設にあたり、自ら建設委員長として、資金集めに東奔西走し、昭和63年、日本移民80年祭記念事業の目玉として完成させた。

又、日系社会の代表機関、ブラジル日本文化協会の指導者として、移民資料館や体育館の建設に尽くした。

さらに、日本の国体にブラジル日系選手団を6回にわたり、団長として引率するなどスポーツを通じ、日伯友好に尽くしている。

■現在

サンパウロ日伯援護協会会長
アテ・アビスタ会会長
米州日系体育連盟会長
日伯文化連盟評議員
ブラジル日本文化協会評議員会会長
在伯和歌山県人会連合会顧問

■主な表彰歴

昭和43年 秩父宮賞(日本陸上競技連盟)
昭和57年 パウリスタ名誉市民権章
(サンパウロ市)
昭和58年 通産大臣表彰(日本)
昭和63年 ブラジル連邦政府労働大臣章
平成元年 リオ・ブランコ勲章
(ブラジル連邦共和国)